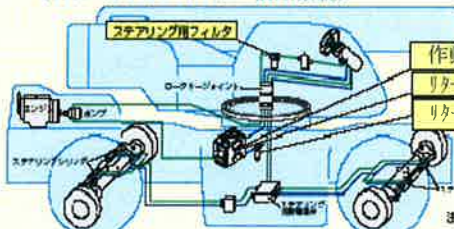


まるぐちニュース 9月号

クレーンニュース

油圧式ステアリング装置に使用しているフィルタの定期交換

(クレーンクレーンのステアリング 油圧系統)



ラフテレーンクレーンの油圧式ステアリング装置は、作動油でシリンダを動かし、タイヤの方向を変えます。この作動油は、経年劣化によるスラッジ（汚泥）の発生やポンプ、バルブ等の磨耗粉により汚れます。この汚れを、フィルタで除去しています。

フィルタのろ材は、使用期間による劣化や作動油の圧力変化等により、長期間使用すると破損し、捕獲したゴミが油圧回路中に流出します。

作動油が汚れたまま使用すると、ステアリング装置に不具合が発生し、重大な事故につながるおそれがあります。

油圧式ステアリング装置に使用されているフィルタおよび作動油は、定期交換の励行をお願いします。

担当 中島

(新品リターンフィルタ)



(交換時期を過ぎたリターンフィルタ)



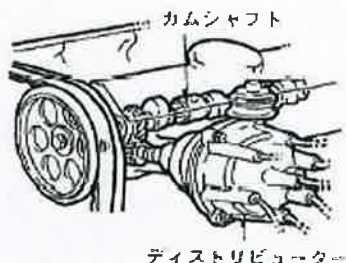
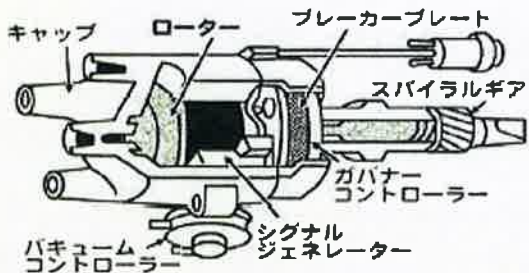
車検ニュース

自動車整備 Q&A

Q ディストリビューターの働きとは・・・？

A 基本的にディストリビューターは3つの働きをします。第一は、内部で回転するローターとディストリビューターキャップによって、各シリンダー内のプラグに点火順序に従って配電を行うことです。第二は直流の電圧を断続するスイッチ回路の役目で、回路の断続を行って12Vの電圧をイグニッションコイルに送り、さらにコイルで数万ボルトに高められた二次電圧を圧縮状態のシリンダの点火プラグに送って着火のためのスパークを起こさせることです。また第三は、エンジンに一番適した点火時期をコントロールする自動進角装置としての働きです。

担当 藤森



ディストリビューター

建機ニュース

ワイヤロープは生きている

ワイヤロープには、寿命があります。例えば、一般的にロープの寿命としては、使用環境に大きく左右されますが、クレーン用については、3か月から2年となっています。本州と四国を結ぶ吊り橋の寿命については、約50年とも100年とも言われています。

- ①誕生 ワイヤロープの誕生は、製鉄所の鋼材から生まれます。鋼材に含まれる材質により、個性をもった材料として誕生します。
- ②成長 原料の種類、ワイヤロープの製造工程において、様々な個性が注入されます。例えば、クレーン用などの長寿命が要求されるロープには特殊な熱処理や特殊なより方を施します。それぞれの用途にあった、構造に上げていきます。
- ③健康診断 ワイヤロープも、使用中の定期的な点検をし、グリスの状態や断線の発生状況などの健康診断が重要であります。例えばグリスが少なく錆が発生するようであれば、補給用のグリスを塗布し、断線が出ていれば切詰めなどで断線位置を変更するなどの処置が重要となります。
- ④老後 ワイヤロープにも寿命があります。どんなにメンテナンスを行っても、必ず廃棄しなければなりません。したがって、廃棄基準をよく理解しワイヤロープの寿命を全うさせて下さい。



昔から「ワイヤロープは生きている」という言葉がよく使われます。ワイヤロープを使用される皆様にとって、自分の子供を育てるようにワイヤロープを使用していただければと思います。 担当 若林

編集後記

8月14日(晴天)
お盆の真っ只中に
大山～神庭の滝～後樂園へ
遊覧に行ってきました！



神庭の滝です！猿が沢山お出迎えてくれました。

さすがに山の木陰はとても涼しくて、冷房なしでも快適でした。神庭の滝では、マイナスイオンを充分に取り込んで、リラックスできました。帰りには先月号でお知らせした、後樂園の「幻想庭園」まで足を延ばして、園内のピアガーデンで生ビールを飲んで一日の疲れを癒してきました。

担当 八木



大山の山頂に帽子のような雲がかかって涼しそう！



少しゴージャスに大山レークホテルのランチを頂きました！